

FVT-air トラブルシューティング

(2015年6月 Ver.1.0)

お客様へ

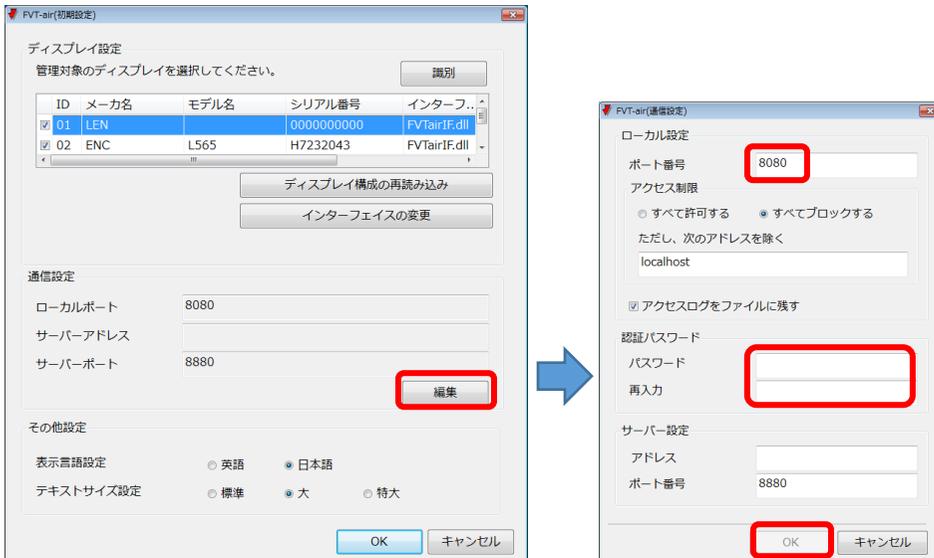
このトラブルシューティングの説明は FVT-air の最新版である v2.1.0.5 の画面を使用して説明しておりますので、納品時期によってはお客様ご使用の FVT-air 画面と異なることがあります。

●FVT-air をインストールした PC において PACS ビューワが起動しない

以下の原因が考えられます。

[原因] FVT-air と PACS ビューワのポート番号が同じためビューワが起動しない（現在 1 社の PACS ビューワでポート番号の問題が確認されております）。

[解決策] FVT-air か PACS ビューワいずれかのポート番号を変更してください。FVT-air での変更方法は、下左図の初期設定画面で「編集」ボタンを押して表示される右下図の画面において、ポート番号を有効な任意の番号に変更→任意のパスワードを入力→画面下にある「OK」ボタンとすすめてください。ポート番号の変更を行った際は一度 FVT-air を閉じてから改めて起動してください。（FVT-air を閉じないままですとポート番号の変更が反映されません。）



●キャリブレーション実行時に「センサの初期化に失敗しました」というメッセージが表示される



以下 2 つの原因が考えられます。

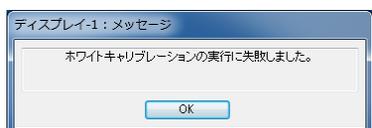
[原因 1] キャリブレーションセンサーが接続されていない。

[解決策] キャリブレーションセンサーを正しく接続してください。

[原因 2] キャリブレーションセンサーが PC (Windows) に認識されていない可能性があります。

[解決策] USB ポートが無効になっていれば有効にしてください。もしくは他の USB ポートに差してみてください。

●キャリブレーション実行時に「ホワイトキャリブレーションの実行に失敗しました」、続いて「LUT データの作成に失敗しました」というメッセージが表示される



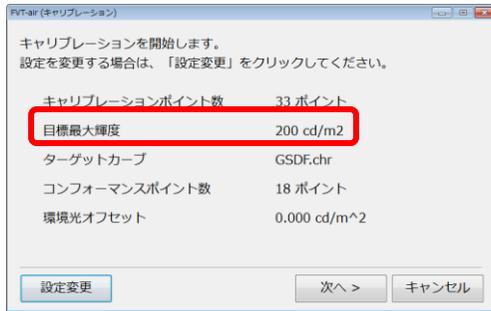
以下 2 つの原因が考えられます。

[原因 1] キャリブレーションセンサーが正しくセットされていない (センサーのレンズ面がモニタにあてていない)。

[解決策] キャリブレーションセンサーのふたをずらしてレンズ面をモニタにあててください。

[原因 2] モニタが目標最大輝度で設定した値以上の輝度を出せない。

[解決策] 最新版 (v2.1.0.5) ではキャリブレーション対象モニタの輝度を設定できます (コマンド対応モニタに限ります)。下図の画面において対象モニタが出せる輝度を設定してキャリブレーションを行ってください。



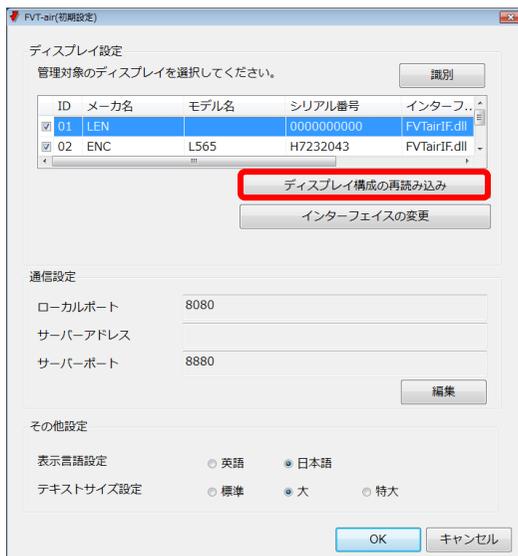
●キャリブレーションを実行してもモニタに何も表示されない

正常時は「このディスプレイの中央にセンサを当ててください」と表示される

以下の原因が考えられます。

[原因] モニタの構成が変わっている可能性があります（接続するモニタに変更があったり、前回使用時からモニタの向き（縦・横）を変えた場合）。

[解決策] 下図の初期設定画面で「ディスプレイ構成の再読み込み」ボタン（古いバージョンでは「初期化」ボタン）を押してからキャリブレーションを実行してください。



●品質管理試験の「定期的な不変性試験」結果において「最大輝度誤差が10%以上である」の項目が不合格になる

以下の原因が考えられます。

[原因] 「最大輝度誤差が10%以上である」の項目は、受入試験時に測定した輝度の劣化を確認しています。

定期的な不変性試験の実施中に表示される「目標最大輝度」の入力画面に適切な値を入力していないと受入試験時の輝度を0（ゼロ）と判断してしまうため不合格と判定されてしまいます。

[解決策] 「目標最大輝度」の入力画面で受入試験時に測定した輝度（下図、受入試験結果の測定最大輝度の値）を入力してください。受入試験を実施していない場合は、受入試験を実施してから定期的な不変性試験を実施してください。（受入試験実施直後に定期的な不変性試験を実施すると、直前の受入試験結果が自動で反映されるため、目標最大輝度の入力画面は表示されません。）

試験日時	2015/06/04 18:17:55	総合目視評価	
試験種類	JESRA X-0093 受入試験	16段階のバッチの輝度差が明確に判別できる。	合格
試験結果	Success	5%バッチ、95%バッチが確認できる。	合格
ディスプレイの製造元	HWP	臨床画像画像の判定箇所が問題なく見える。	合格
ディスプレイのモデル名	HP ZR2440w	グレイスケール	
ディスプレイのシリアル番号	CN42230KZ6	グレイスケールバーが連続的に表示されている。	合格
LUTのモード	Enable	アーティファクト	
LUTの作成日時	2015/06/04 18:14:04	フリッカーが視認されない。	合格
LUT番号	1	クロストーク要素が正常に表示されている。	合格
UCTのモード	Unknown	過度な尾引き、オーバーシュート、シャドウ、ゴーストが視認されない。	合格
UCTの作成日時	---	輝度応答	
試験者	Local	最大輝度が100以上である。	合格
ディスプレイランク	グレード2	輝度比が100以上である。	合格
試験環境		コントラスト応答の値が基準値の30%以下である。	合格
所在地		マルチ医用モニタの最大輝度偏差10%以下である。	未試験
施設		測定最大輝度 (Lmax) [cd/m ²]	200.602269
部署		測定最小輝度 (Lmin) [cd/m ²]	0.173160
装置責任者		マルチ医用モニタ間の最大輝度偏差 [%]	未試験
設置場所、室番号		輝度比 (Lmax/Lmin)	1156.476991
設置場所の説明		コントラスト応答誤差 [%]	3.633423
画像再生装置は製造者の指示通りに接続されている。	いいえ	輝度均一性	
逸脱点		最大輝度偏差が30%以下である。	合格
画像作成装置の種類		最大輝度偏差 [%]	18.421857
画像作成装置の製造元		輝度 M [cd/m ²]	89.122491
画像作成装置に直接接続されている。	いいえ	輝度 E1 [cd/m ²]	78.586470
PACワークステーション内に接続されている。	いいえ	輝度 E2 [cd/m ²]	86.548079
基準臨床画像	1183X_1k_8b.tif	輝度 E3 [cd/m ²]	75.467515
センサ	IT Display3	輝度 E4 [cd/m ²]	90.780501
センサシリアル	OE-13 A-02 103441.11	コントラスト応答	